

# AIDS

----- エイズ -----

正しい理解のために



高校生用  
エイズ教育教材



知ってる？  
エイズの  
ほんと。



エイズを理解して  
ください………  
誤解や偏見を  
なくしましょう。



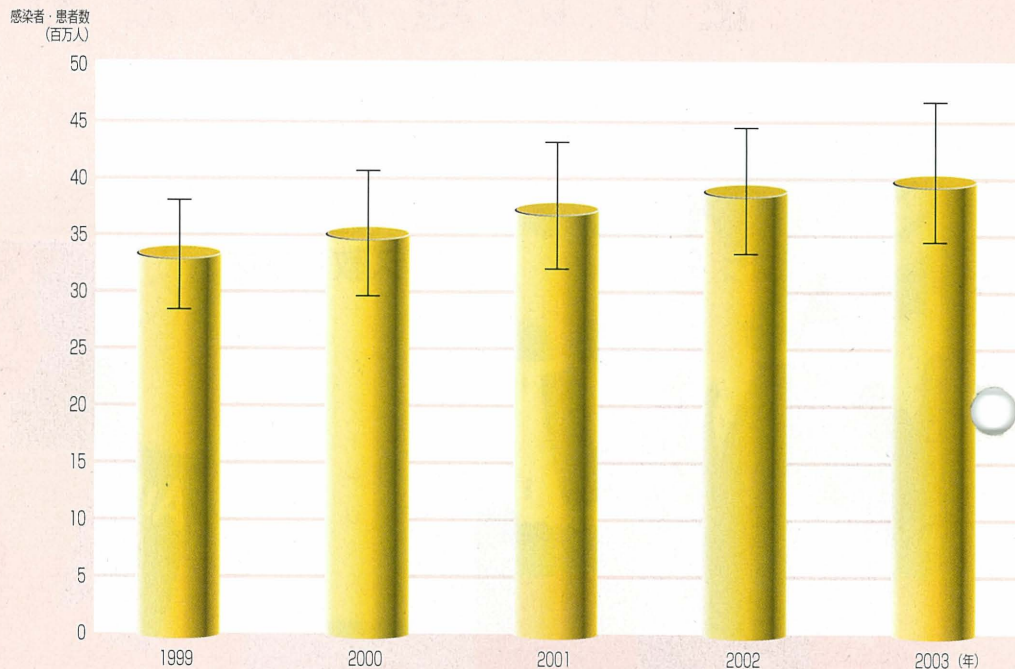


# なぜエイズが 問題になっているの？

エイズは、

- 感染者が世界中で増加していることが分っています。
- 世界中でのHIV感染者・エイズ患者推計数は4,000万人（平成15年末）と報じられています。
- エイズを完全に治す薬はまだ開発されていませんが、薬の進歩で発病までの期間を延ばすことができるようになりました。

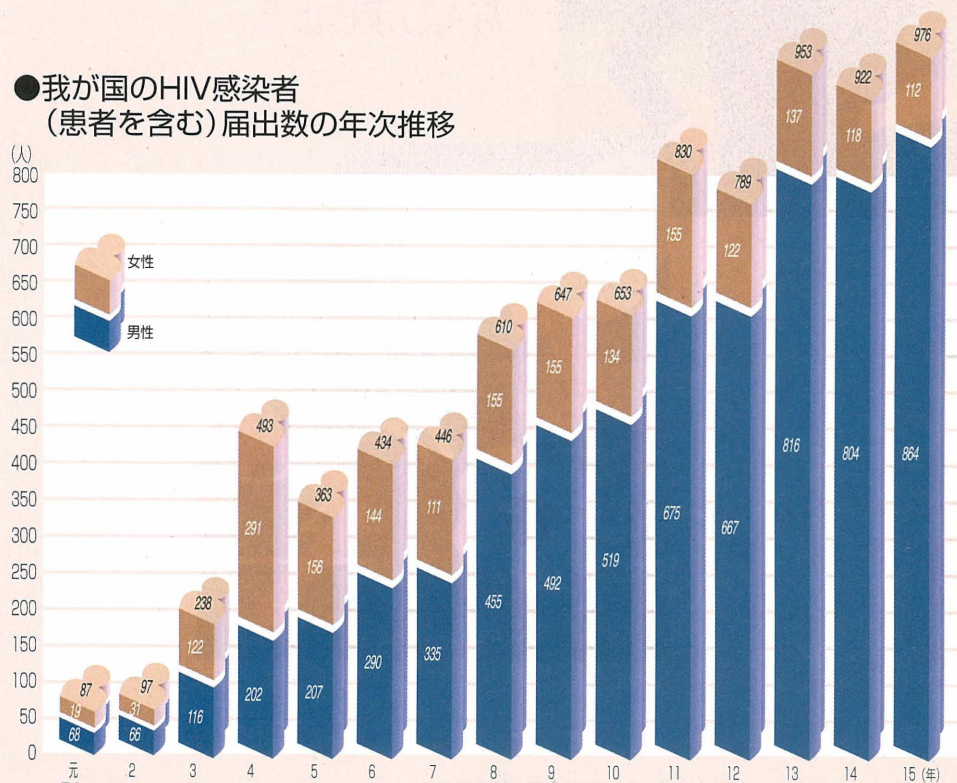
●HIV感染者・AIDS患者推計数  
1999—2003



┐ 印は推計値の（実際の数値が存在する）範囲を示す。

（資料）国連合同エイズ計画、WHO（世界保健機関）

●我が国のHIV感染者  
（患者を含む）届出数の年次推移



（資料）厚生労働省エイズ動向委員会

我が国のHIV感染者の  
届出数も増加しています。

我が国の患者・感染者数は、凝固因子製剤による感染例を除いて累積8,672人（平成15年末現在）となり、年々増加しています。日本人感染者の年齢は20歳代、30歳代が多く、ほとんどが国内での感染です。



# エイズとは どんな病気なの？

## 後天性免疫不全症候群

エイズとはHIV（Human Immunodeficiency Virus、ヒト免疫不全ウィルス）に感染して起こる病気で、感染すると免疫の機能が破壊されていきます。その結果、さまざまな重い感染症や悪性腫瘍にかかる、生命にかかわることになります。人間は目に見えない無数の微生物と一緒に暮らしています。人間が無数の微生物を飲食したり吸入したりしても大丈夫なのは、人間の体の中に「免疫」の機能があるからです。ところがHIVは、免疫機能の中心的役割をもつリンパ球の中で増殖し、これを破壊してしまいます。

エイズが発病するのは、このように、免疫という防御システムが破壊されるためです。HIVはまた、ワクチンの開発が難しいウィルスです。しかし治療法の研究が進んで、発病を阻止したり、遅らせることができるようになりました。



## ●HIV粒子の電子顕微鏡写真

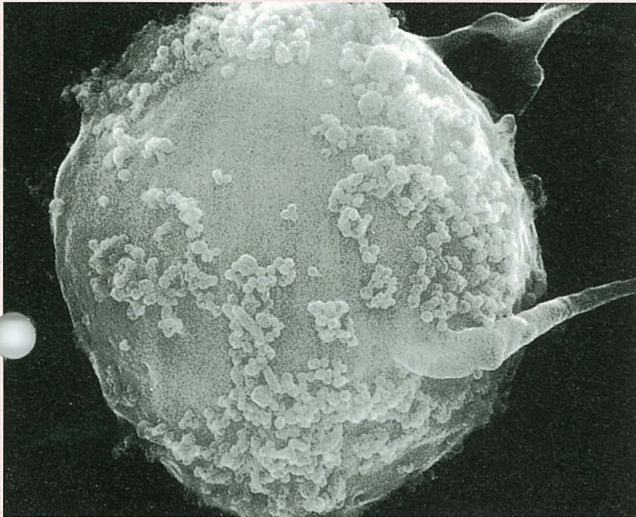


写真1. HIVに感染したTリンパ球  
表面に群がるように付いているたくさんの小さな粒子がウィルス

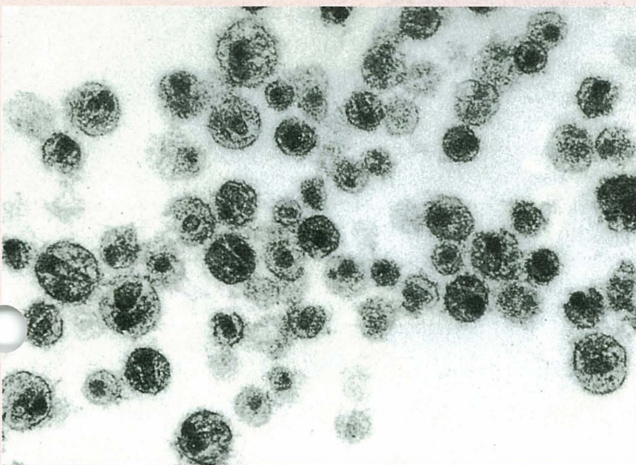


写真2. HIV粒子の断面図 大きさは約 $0.1\mu\text{m}$  ( $0.0000001\text{m}$ )  
写真1,2. 提供：岡山大学医学部 新居志郎教授

## 免疫機能のしくみ

免疫機能の中心的役割は、白血球の一種であるリンパ球です。リンパ球には、抗体をつくるB細胞と、その他のいろいろな免疫機能を分担しているT細胞があります。HIVはその中で免疫システムの司令塔の役割をしているT細胞の中で増殖し、これを破壊するので免疫全体の機能が低下してしまうのです。これが免疫不全です。



# HIVに感染すると どうなるの？

## 感 染

たいていの場合、HIVに感染しても何も症状がありません。このような期間を潜伏期といい、治療しなければ平均10年くらいといわれています。この間は、学校や職場でも感染する前と同じ生活を送ることができます。しかし、無症状の間でも、性交や血液を介して他人に感染する可能性があります。

## エイズの前段階

通常、長い潜伏期を経て次第に免疫力が低下してくると、発熱、下痢、体重減少といった、いろいろな症状が出てきます。これがエイズの前段階です。

## エイズ

免疫力がさらに低下すると、体の抵抗力が弱まり、通常かからないような重い感染症や悪性腫瘍、神経症状などが現れます。これがエイズの発病です。

感染しない  
ように

現在のところエイズを完全に治す薬はありませんが、HIVに感染した場合でも早期に発見し、治療を受けることで発病を遅らせることが可能となりました。

エイズも他の病気と同様に、早期発見・早期治療が大切です。また、自分が感染しているかどうかを知ることによって、他の人にエイズが感染しないようにすることも非常に大切なことです。

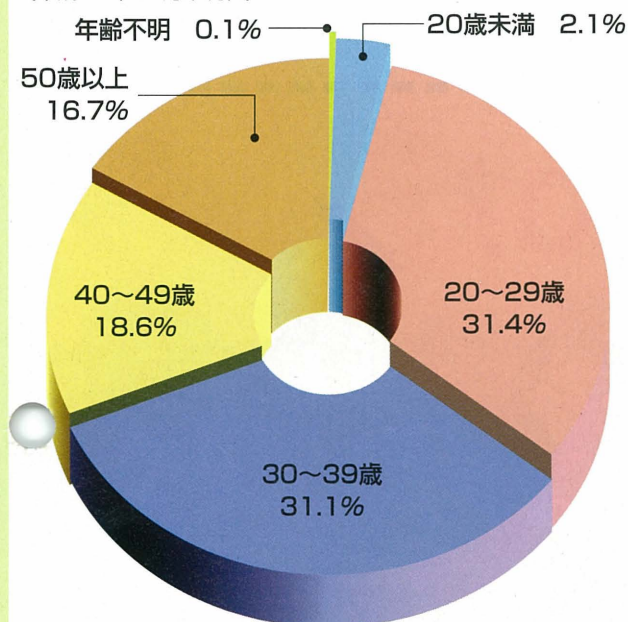




# どのようにしてうつるの？

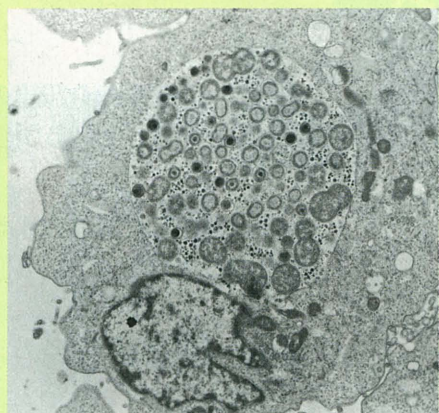
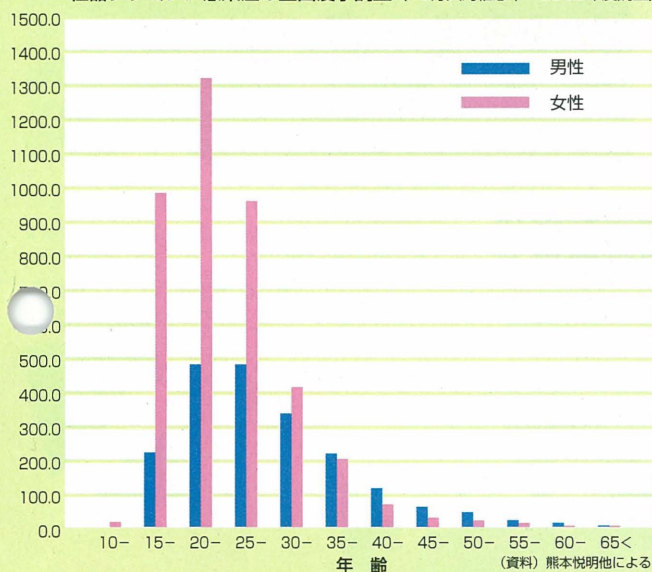
## HIV感染者（患者を含む）の年齢構成

（平成15年12月末現在）



（資料）厚生労働省エイズ動向委員会

## 性器クラミジア感染症の全国疫学調査（10万人対罹患率－2000年度調査）



写真：クラミジア顕微鏡写真

HIVは、感染者の血液、精液、膣液に多く含まれ、性器の粘膜や皮膚の傷口から侵入します。

したがって、日常の社会生活では、HIVに感染している人との性交以外に感染することはほとんどありません。日本でも性交による感染が多くなっています。このほか、感染した母親から赤ちゃんへの感染、感染した人との注射器の共用による感染などがあります。

また、左のグラフから、20歳代、30歳代の感染者が多いことがわかります。生涯にわたり、感染から身を守るために、早くから予防に関する基礎的な知識を身に付けておくことが大切です。

## エイズも性感染症です。

性行為によってうつる感染症（性感染症・STD\*）のなかで性器クラミジア感染症は、近年目だって増加しており、とくに若い世代での増加が心配されています。

左図では15歳から30歳までの世代での患者が日立って多いことが示されており、無防備な性行為の危険なことがわかります。

エイズも性感染症であり、また、他の性感染症のある患者はとくにエイズに感染しやすいことも知られています。

性感染症について正しい知識をもつことが大切です。

\*STDは sexually transmitted disease の略

## クラミジア感染症とは：

クラミジアとは細菌とウィルスの間にあたる病原体で、肺炎や結膜炎（トラコーマ）などの病気もおこします。性器の感染では排尿時の痛みやおりものの増加がおこりますが、一般に症状が軽いので気付かないことも多い病気です。

写真では細胞の中でクラミジアが増え、かたまり（封入体）ができているのが分ります。



# どうすればうつらないの？ 感染を予防するには危険な行動をしないことです。

●コンドームを正しく使えば  
HIVの感染を予防できます。

- 薬物乱用は絶対にしない。
- また、注射器の共用は危険です。

●エイズに限らず、血液を介してうつる病気はいくつか知られています。基本的なエチケットとして次のことを身に付けておきたいですね。

1. カミソリ、歯ブラシ、タオル、くしなどの血液のつきやすい日用品は、自分の専用とし、他人のものは用いないようにしましょう。
2. 血液がついた体や衣服、シーツなどは、なるべく早く石けんを用いて流水で十分に洗い落としましょう。

●相手を次々に変えるような性交は、HIVに感染する危険を大きくします。HIV感染の潜伏期にはなんの症状もないので、感染者自身も、また外から見ても分からないものなのです。



## こんなことではうつりません



握手などではうつりません。

カやダニなどからはうつりません。

咳やくしゃみや唾液などを介してはうつりません。

お風呂やプールなど水を介してはうつりません。

HIVの感染力は弱く、感染経路が限られています。学校や職場などのふだんの生活で感染することはありません。



### 正しい理解が 不安を除きます



洋式トイレの便座や電車のつり革など、器物を介してはうつりません。

一緒に勉強したり、食事したりしてもうつりません。

献血については、使用する針やチューブは使い捨てですので、感染の心配はありません。





### レッドリボン運動

レッドリボン運動は誰でも参加できる思いやり運動です。病気や事故で人生を全うできなかった人々の死を悼む心を表すため、赤いリボンをつける習慣がヨーロッパにありました。ニューヨークでエイズがまん延し、多数のアーティストやミュージシャンが20歳代の若さでこの世を去って行くのを悼む気持ちから、この運動が生まれました。



ワシントン・モニュメントのもとに広げられた20,000枚を超えるメモリアルキルト。メモリアルキルトは、エイズで亡くなった人々の家族や友人の手で縫われ続けています。  
写真提供：メモリアル・キルト・ジャパン



# 誤解や偏見を なくしましょう。

エイズは地球全体の共通の問題です。世界中で多くの人々が、HIVに感染した人々と共に、この問題に取り組んでいます。

これまで、

HIVに感染した人や家族が、誤解や偏見による差別を受けてきた事実がありました。エイズという言葉が、いじめやからかいに使われることもありました。

今、

多くの人たちがHIV感染者の生活を支援し、心の支えになっています。HIVに感染した人たちも予防の大切さを訴えています。

これからも、

エイズについての正しい知識をもって、HIVに感染した人に対する誤解や偏見をなくしましょう。

HIVに感染した人々と共に、希望をもって生きる社会をつくりましょう。



# エイズQ&A

**Q** HIVに感染した人と手を触れたり会話しても大丈夫ですか？

**A** HIVは大変感染力が弱く、熱や消毒薬にも弱いウイルスです。また、感染経路は限られており、ふだんの生活では感染の心配はありません。握手など普通の接触や、お金や品物の受け渡しも心配ありません。飛沫感染はしないので、会話をしても、せき、くしゃみなどからもうつりません。エイズに感染した人々と共に暮らしながら、身の回りの世話をしたり心の支えになっている人はたくさんいます。

**Q** クラミジアなどの性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすくなるって本当ですか？

**A** 本当です。ほかの性感染症によって性器の粘膜が傷ついていると、HIVが侵入しやすいからと考えられます。

**Q** HIVに感染したかどうかは、どうしたらわかるのですか？また、エイズに関する相談はどこで受けられますか？

**A** 感染しても症状はありませんが、血液検査をしてHIVが体に入ったときにできる抗体を調べるとわかります。この検査は保健所や医療機関で受けられます。保健所の検査は、匿名、無料で受けることができます。また、相談活動は、都道府県のエイズ相談窓口や保健所を中心に行われています。秘密は必ず守られ、他人に知られることはありません。

**Q** 検査を受けたほうが良いのでしょうか？

**A** 何らかの不安がある場合は検査を受けることを勧めます。なぜならば、もし結果が陽性の場合には、医師の指導を受けることなどにより、エイズの発病を遅らせることが可能となってくるからです。また、他の人に感染しないようにするためにも、感染したかどうか知ることはとても大切なことです。

**Q** 検査結果が陰性であればエイズの心配はないのでしょうか？

**A** 検査結果が陰性であればエイズの心配はありません。しかし、HIVの抗体は、感染してから数週間後にできるため、感染の機会があっても、数週間は感染していても陰性の結果が出る場合があります。ただし、検査を目的とした献血はあってはなりません。

**Q** “ピル”はエイズや性感染症の予防になりますか？

**A** “ピル”にはエイズなどの予防効果は全くありません。“ピル”は避妊が目的の薬で、医師の処方が必要です。一方、コンドームを正しく使えばエイズなどの性感染症の予防になります。

エイズに関する医学は刻々進歩し、社会情勢も変化していきます。

将来にわたって新しい情報と正しい知識を知り、適切に判断できるように心がけましょう。